

【 「生徒を成長させる」教師という仕事 ～教育実習～ 】

令和5年6月22日



教育実習の期間が終わりました。2～3週間という短期間でしたが、実習生は充実した貴重な日々を送ることができた様子で本当に良かったと思います。また、ここ数年、新型コロナの影響で教育実習が十分にできなかったのも、できて本当に有り難いことです。皆さん

は小・中と教育実習の先生に教えてもらったことがあると思いますが、実習生にとっては1回しかないのでとても貴重な経験です。そして、実は教育実習生は生徒に教えると同時に、**生徒から多くのことを学んでいる**のです。先生は生徒から学んで、**それを力にして生徒を成長させています**。先生は、生徒の姿を思い浮かべて授業の準備をしたり、部活動の計画を立てたりしながら、**その先の成果まで考えている**のです。

ところで、皆さんにとって「いい先生」とはどんな先生ですか？「優しい先生」「授業が分かりやすい先生」「何でも相談にのってくれる先生」「厳しく鍛えてくれる先生」など、いろんな先生が思い浮かんだことでしょうか。では、こんな先生はどうですか？「**ワクワク感**」を抱かせてくれる先生。例えば、「こうやったら多分面白いと思う。」とか「失敗してもいいから、どうなるか思い切ってやってみなさい。」などとアドバイスしてくれる先生です。課題研究や行事、部活動に教科書はないので、**自分で主体的にやらなければなりません**。そこには可能性が満ちていて、学ぶことが無限にあり、**それが成長につながります**。そこへ生徒を導くのが先生の仕事です。しかし、生徒はコミュニケーションが満たされた中で成長するので、生徒のことを分かってないとうまくいきません。したがって、教育実習は生徒に接することができるという点で非常に価値のある経験となります。

ところで、昔から現在に至るまで、「**学校の先生**」は**小中高生の憧れの職業の上位**にランキングされています。しかし、最近採用試験の受験者が減少し教師不足が課題となっています。皆さんの中には教師志望の人もいると思います。**人を成長させる教師はやりがいがあります**。志のある人は是非母校の洲本実業に戻ってきて後輩の育成に力を注いでみませんか！